

# 大池小・ひかりが丘小 小規模校再編検討委員会ニュース

発行日：平成21年10月2日

発行：横浜市教育委員会事務局学校計画課

## 第4回検討委員会 開催

☆平成21年9月15日(火)19時00分から  
ひかりが丘小学校コミュニティハウスにて

### 決定事項

- 統合校の校名については四季の森小学校とすることを決定しました。
- 統合校の通学区域については、大池小学校とひかりが丘小学校を合わせた通学区域とすること、上白根中学校の通学区域については変更しないことを決定しました。
- 教育委員会へ提出する中間の意見書の内容を確認しました。

## 1 統合校の校名

統合校の校名についてはたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。  
寄せられた校名案を基に検討を行い、統合校の校名を決めさせていただきました。

### 学校名アンケート結果

**応募総数** 301件

大池小(児童・職員) 155件、ひかりが丘小(児童・職員) 101件、自治会・地域 45件

#### 票数

- |    |             |                    |
|----|-------------|--------------------|
| 1位 | 四季の森(しきのもり) | 61票                |
| 2位 | 大光(おおひかり)   | 7票 (ほか「だいこう」読み 3票) |
|    | みらくる        | 7票                 |
| 4位 | ひかり池        | 6票                 |
|    | 桜(さくら)      | 6票                 |

#### 多かった単語

「旭(あさひ)」「池(いけ)」「丘(おか)」「大(おお、だい)」「元気(げんき)」「光(こう、ひかり)」「空(そら・ぞら)」「緑(みどり)」「森(もり)」

### 委員会での主なご意見・ご質問

- ☆ 地域の方から、昔はきれいな森だったので「森の丘」が良いといわれた。  
→ 「森の丘」はすぐそばの「森の台」に似すぎているのではないか。(委員)
- ☆ 中学校が「上白根中」なので、同じように「上白根小」にしたいが、既にあるのでできない。
- ☆ 「四季の森」は票数が多いので、検討しなければいけないだろう。
- ☆ 校歌の中に長い校名が入ると、歌うときに舌をかむかもしれないので、長くない方がいい。
- ☆ 「ひかり小」などもいいと思う。ひかりが丘団地の子どもが多いので、アンケートでは「ひかり」を使っているものも多いようだ。
- ☆ 自分は「四季の森」と書いた。公園と同じ名前だが、緑が豊富なこの地域にあっていると思う。
- ☆ 「四季の森」というと、地域の人には場所が推測できるのでよい。
- ☆ 子ども達のアンケートでも「四季の森」が一番多い。これでいいのではないか。
- ☆ 中学校は直接関係ないが、保護者と話した中では「四季の森」が多かった。採用できない強い理由がなければ「四季の森」でいいのではないか。
- ☆ アンケートを取る前に票数が多いから決めるのではないと話したが、それは大池小の子どもの数が、ひかりが丘小より多いからだった。実際にアンケートを取って、大池小もひかりが丘小も「四季の森」が良いと思う子どもが多いようなので得票が多くても問題ないだろう。

☆ アンケート結果をみると、「四季の森」は大池小・ひかりが丘小・先生・地域と、どこからも偏りなくあがっているのが良い。

☆ 「四季の森」にして、県立公園の設置者である県からクレームが来ることはないか。

→ 県には確認しているので大丈夫です。(事務局)



## 統合校の校名については「四季の森小学校」に決定しました。

決定理由： アンケート結果から両校の子ども・地域とも票数が多い。  
「四季の森」を使用することで学校の場所が推測しやすい。

## 2 統合校の通学区域

統合校の通学区域について、大池小学校とひかりが丘小学校の通学区域とすることで良いかの検討を行いました。

**検討の結果、統合校の通学区域については、大池小学校とひかりが丘小学校を合わせた通学区域とすることに決定しました。**

**また、上白根中学校の通学区域変更は行わないことを決定しました。**

→ これにより、統合校の通学区域と上白根中学校の通学区域は一致することとなりました。

## 3 意見書

上記までの決定を受けて、教育委員会へ提出する中間の意見書の内容を確認しました。  
なお、新校の特色づくり等につきましては、最終の意見書に記載します。

横浜市教育委員会  
教育長 田村 幸久 様

「大池小・ひかりが丘小」小規模校再編検討委員会  
委員長 中野 保弘

大池小学校・ひかりが丘小学校の小規模校の再編に関する意見書(中間)

当検討委員会は、横浜市教育委員会が策定した「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」に基づき、大池小学校・ひかりが丘小学校の小規模校の再編について検討するため、本年4月に設置されました。

この度、以下の事項について意見をとりまとめましたので、申し述べます。

なお、新校の特色づくり等につきましては、後日別途申し述べます。

### 1 小規模校の再編計画案

#### (1) 再編に当たっての考え方

児童の教育環境の維持・向上と効果的かつ効率的な学校経営を行うため、小規模校化しているひかりが丘小学校と今後小規模校化が見込まれる大池小学校の2校を再編統合すべきと考えます。

#### ア 小学校の通学区域

現在の大池小学校、ひかりが丘小学校の通学区域を合わせた学区とします。

#### イ 中学校の通学区域

現在指定されている上白根中学校について、統合後においても現状のままとすることが望ましいと考えます。

#### (2) 再編の実施方法

ア 統合後に使用する学校施設は、現在の大池小学校が適当と考えます。

イ 再編統合の時期は、統合に向けての十分な準備期間を確保する観点から、平成23年4月が適当と考えます。

### 2 統合校の学校名

統合校の名称は、「四季の森小学校」とすることが適当と考えます。

## 委員会での主なご意見・ご質問

☆ 過去には後利用の要望を出している検討委員会もあるようだが、それはできるか。

→ かつては検討委員会で話しあったこともありましたが、検討委員会の本来の目的は小規模校の教育環境の改善です。後利用ありきで統合校のあり方を検討することになると良くないので、最近では検討委員会で後利用の議論はしていません。市のルールでは、市全体のプランを行政が検討、それを地域に示し、検討委員会とは別の委員会等をつくって検討することになっています。(事務局)

**意見書(中間)は9月28日に委員長から教育委員会へ提出しました。**

## 4 統合校の特色づくり

大池小・ひかりが丘小の両校長から下記のとおり統合校の特色づくりについて考え方が示されました。その後、(3)地域が描く新校の子ども像部分等について検討を行いました。

### 新校の特色づくりについて

国の学習指導要領をふまえた上で、横浜市立学校の教育課程の理念方向及び特色を示すものとして横浜版学習指導要領が提示されました。

横浜教育ビジョンにおいて横浜がめざす「人づくり」の観点から「知」(幅広い知識と教養)「徳」(豊かな情操と道徳心)「体」(健やかな体)「公」(公共心と社会参画意識)「開」(国際社会に寄与する開かれた心)で示された「横浜の子ども」を学校教育の現場ではぐくむための方向が示され、さらに「市民力・創造力」を兼ね備えた未来を担う「横浜の子ども」の実現に向けて、学校教育において身につける3つの力が下記のように示されました。

- ① 学ぶ楽しさと創り出す喜びを原動力に、夢と希望に向けて努力する力
- ② お互いの違いを認識した上で、協働・共生する力
- ③ 進取の精神と多様性を認める柔軟さをもち、変化する社会を生き抜く力

#### (1) 新校のめざす教育の方向

両校のこれまでの教育活動をふまえながら、一人ひとりの子どもにしっかり教え、しっかり引き出す指導を通して横浜教育ビジョンの「知・徳・体・公・開」で示す「横浜の子ども」の教育をめざします。

#### (2) 新校の特色づくりについて

めざす子ども像

「人・もの・ことのかかわり合いの中で心豊かにたくましく生きる子」

- 学習と生活の基礎基本の定着(学力の保障、基本的な生活習慣を身につける)
- 小中9年間の連続した学びの充実(小中のスムーズな接続、幼保との連携も)
- 小中9年間の連続した児童生徒指導及び特別支援教育の充実
- 豊かな心の育成
  - ・読書活動の推進と学びの環境の充実
  - ・コミュニケーション能力(言語力、表現力、人間関係作り)の育成
- まちの人に愛される学校(開かれた学校)

#### (3) 地域が描く新校の子ども像

検討委員会の意見をまとめて記載します。

#### (4) 学校と地域との関わりについて

- 小中連携型の学校運営協議会の設置をめざし、学校をとりまく諸課題を検討していく。  
※ 現在ひかりが丘小学校で立ち上げた組織を中学校区として運営していく。
- 地域の子どもたちを、学校・家庭・地域で責任を持って育て見守り続ける。  
※ わがまちの子どもたちを共に育てる。  
※ 保護者・地域の協力体制づくり。地域が支える学校づくり。

## 委員会での主なご意見・ご質問

### ☆ 特色づくりに地球温暖化は入っていないのか。

→ (2)豊かな心の育成の「学びの環境の充実」に含まれます。太陽光パネル設置も決まっており、メーターを子どもの目の届くところに置いたり、公園で土や緑に接する機会を増やすなどしていきます。(校長)

### ☆ 学校の歴史や郷土愛に関するものが抜けているのではないか。大池小の農機具などを磨いて展示し、誰でも見られるように。子ども達がこのまちを好きになれるように考えてもらいたい。

→ 挨拶は基本的な生活習慣として現在も指導しています。農機具は今は置いてあるだけなので地域の方にも見てもらえるよう整理していきます。(校長)

### ☆ 挨拶を大切にすることが必要だ。

→ 挨拶は基本的な生活習慣として現在も指導しています。(校長)

### ☆ イジメや差別のない、子ども達が行きたくなる学校にしてほしい。

### ☆ 国際化社会に向け、議論好きな子どもにしてほしい。

### ☆ 物を大切にすることが子どもになってほしい。

### ☆ 個性を大事に長所を伸ばす学校であってほしい。自分の力が伸ばせると、それが励みになって学校が好きになる子どもになる。学校は子どもの目線に立って、引きつけるような行事を定期的に行ってほしい。

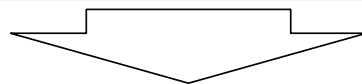
### ☆ 他人の痛みを自分の痛みとして感じられる子、他人を傷つけるとどのくらい痛いかが分かる子どもになってほしい。

### ☆ 何事もあきらめない、努力する子どもにしてほしい。泳げないからいいやではなく、あきらめないで泳ぐ子にしてほしい。その努力が大人になっても役に立つことになる。

### ☆ 意見書に「後日別途申し述べます」とあるが、(特色づくりについては)いつ提出するのか。

→ 今回は中間報告なので、特色づくりについては記載しません。

新校の特色づくりは、次回修正したものを提示するので確認していただき、最終の意見書に記載します。(事務局)



**特色づくりについては今回いただいた意見をもとに案を修正し、次回引き続き検討します。**

### 【第5回検討委員会の日程】

★平成21年10月27日(火)19時00分 ひかりが丘小学校コミュニティハウス

「大池小・ひかりが丘小」小規模校再編検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧いただけます。

・基本方針など [http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/kyoiku\\_info/gakku-houshin.html](http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/kyoiku_info/gakku-houshin.html)

・「大池小・ひかりが丘小」小規模校再編検討委員会

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/>



「大池小・ひかりが丘小」小規模校再編検討委員会では、常に皆さまからのご意見をいただいております。FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

\* 「大池小・ひかりが丘小」小規模校再編検討委員会事務局

横浜市教育委員会事務局 学校計画課

FAX:045-651-1417

Eメール: [ky-hikarigaoka@city.yokohama.jp](mailto:ky-hikarigaoka@city.yokohama.jp)

TEL:045-671-3253

